



# 特別支援学校と小学校3年生の『交流及び共同学習』の計画・学習の進め方について

新潟県立小出特別支援学校 小山光 関恵



## 教師のねらい

大切になるのは…

小出特別支援学校  
他校の友達と関わりながら、  
混乱なく活動が  
できるよう工夫する。

- 教師同士の打ち合わせ
  - ・年間計画の作成
  - ・児童の様子の情報共有
- つながりのある授業構成
  - ・教科での継続した活動
  - ・直接交流と間接交流
  - ・事前学習、事後学習

伊米ヶ崎小学校  
一緒にやりたい活動や  
関わり方の工夫を  
児童に考えさせる。

## 学習の進め方

### ①両校担任の打ち合わせ (年度初め)

ねらい

児童の実態

配慮事項

昨年度の活動

小学校担任による  
特支学校見学

### ②第1回交流(6月)



特支での  
いつもの  
音楽・体育

特支児童  
の混乱を  
最小限に

### ③特支担任による 小学校での出前授業 (第1回交流の1週間後)



特支での  
学習における  
工夫・支援の  
紹介

どの教科で一緒に  
学習したいか投げかける

### ④両校担任の 打ち合わせ(随時)

一緒に図工を  
やりたいな!



こんな工夫を  
してみよう!

児童に  
考え  
させる

児童の  
考えを  
生かす

### ⑤第2～5回交流(9月～11月)

#### 図画工作「いきものランドをつくろう」

#### (1)いきもの決定 材料選び



#### (2)いきもの制作1



#### (3)いきもの制作2



#### (4)いきものさがし ウォークラリー



グループでの活動 深まる関わり

### ⑥各校での活動

#### 小出特別支援学校

- 選んだ材料の加工
- 特支児童での作品制作
- 共同作品の続きの制作
- 交流前日の事前学習

離れている  
間もお互いを  
思う活動

交流の  
意識付け、  
見通し

#### 伊米ヶ崎小学校

- 感想や意識の明確化
- 関わり方についての  
作戦を立てる
- いきものランドの場所  
(会場校)を考える
- 共同作品の続きの制作

## 成果と課題

- 担任同士がお互いの学校の児童の特性を考えて、学習に生かすことができた。
- 児童の「関わる」意識を継続させて、学習を進めていくことができた。
- △「教科のねらい」を達成するための打ち合わせや情報共有を、今後さらに重ねていけるとよい。